『あの時』

作：ポチ子

あの時、絵を描き続けていれば、

もっと上手くなっていたかな。

あの時、歌をもっと練習していれば、

今頃は歌手のようにうまくなっていたかな。

全部、都合のいい妄想。

実際は、

絵も今とさほど変わりなく、

歌だって、カラオケで高得点を出せる、

それくらいかもしれない。

『あの時』　作：ポチ子

でも、今の私にそれを知ることはできない。

だって、それを頑張った未来の私はどこにもいないから。

私は自分の未来を、

自分で潰して生きてきた。

周りのせいにしたくても、

うまい言い訳が思い浮かばない。

今、何もないのは、

過去の私のせいで。

未来に何もないのは、

きっと私のせいだ。